

SDGs の達成に向けた 建築・都市の挑戦

— 住み続けられる低炭素型まちづくり —

主催 低炭素社会推進会議
 日時 2018年12月11日(火) 13:00～17:30
 会場 建築会館ホール(東京都港区芝5-26-20)
 定員 200名(申込み先着順)
 参加費 会議構成団体会員 2,000円、会員外 3,000円
 学生 1,000円(資料代含む/当日会場払い)

基調講演

「SDGs に対して建築・都市関連団体はどんな貢献ができるか」
 小林 光氏 (慶應義塾大学政策・メディア研究科特任教授)

「何故、企業は SDGs に取り組むべきなのか？」
 ピーター D. ピーダーセン氏
 (SDGs 戦略研究会コーディネーター, 社団法人 NELIS 代表理事)

プログラム

1. 主旨説明 中村勉 (議長, 日本建築士会連合会)
2. 活動報告 低炭素社会推進会議参加団体
3. ご挨拶 石坂聡 (国交省住宅局総合整備課長)
4. 基調講演 小林光 (前掲), ピーター D. ピーダーセン (前掲)
(休憩)
5. パネルディスカッション モデレーター 中村勉 (前出), 糸長浩司 (農村計画学会, 日本大学)
 「SDGs の達成に向けた建築・都市の挑戦 —住み続けられる低炭素型まちづくり—」
 - ① 低炭素社会推進会議と SDGs 吉野博 (建築学会, 東北大学)
 - ② 建築産業における SDGs への対応課題 高井啓明 (日建連, 竹中工務店)
 - ③ 自治体における SDGs 達成に向けた取組について 川久保俊 (建築学会, 法政大学)
 - ④ 長野県の環境エネルギー政策について 戸谷尊文 (長野県環境部環境エネルギー課温暖化対策係)
 - ⑤ 環境共生と SDGs 中根英昭 (高知工科大学・環境共生学会)
 - ⑥ 共生社会からの視点 古沢広祐 (共生社会システム学会, 國學院大學)
6. まとめ 村上公哉 (都市環境エネルギー協会・芝浦工業大学)

申し込み

<http://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=615377> よりお申し込み下さい。
 ※日本建築学会以外の会議構成団体会員の方は、上記 web サイトより「会議構成団体」を選択いただき、通信欄に所属団体名をご記入ください。
 ※別途有料にて、リアルタイム動画配信を実施いたします。こちらを視聴希望の方は下記 URL からお申し込みください。なお、動画配信をお申し込みの方は、上記会場への参加・入室はできませんのでご注意ください。
<http://www.aij.or.jp/event/list.html?categoryId=2>
 動画配信申込締切：2018年12月3日(月)

構成団体：(公社) 空気調和・衛生工学会, (一社) 建築備技術者協会, (一財) 建築環境・省エネルギー機構, (一社) 建築設備総合協会, (一社) 住宅生産団体連合会, (一社) 電気設備学会, (一社) 都市環境エネルギー協会, (一社) 日本サステナブル建築協会, (一社) 日本建設業連合会, (公社) 日本建築家協会, (一社) 日本建築学会, (一社) 日本建築構造技術者協会, (公社) 日本建築士会連合会, (一社) 日本建築士事務所協会連合会, (一社) 日本太陽エネルギー学会, (公社) 日本都市計画学会, (一社) 日本木材学会, 日本ヒートアイランド学会, 農村計画学会, 日本環境共生学会

協力団体：(公社) 共生社会システム学会

